

絵文字の選択を容易にしたチャットシステムの作成

虎谷 安孝[†] 平山 亮[‡]
 金沢工業大学[†] 金沢工業大学[‡]

1. はじめに

携帯電話で使用されていた絵文字も、今や電子メール、SNS やブログなど、あらゆるところで見かけるようになった。MyVoice のマイボイス定期アンケート (調査期間 2007 年 6 月 1 日～6 月 5 日) によると、携帯電話でメールを作成するときに絵文字を使用する人は 78.4% だという^[1]。絵文字が相手とコミュニケーションを円滑化にするための手段となっていることが読み取れる。

2009 年 3 月に Google と Apple 社が「絵文字シンボル符号化の提案」^[2] を発表した。この提案は日本の携帯会社 3 社の携帯絵文字セットを世界共通の文字コードである Unicode に新しく収録するものである。

これは、各社が独自で作った絵文字に互換性もたすように、絵文字に文字コードを割り当てるものである。しかし、この収録方法を見ると意味が重複するもの、異なった意味の絵文字を同じものとして扱っているなどの無秩序な標準化が進められている。またこの提案は、元からある絵文字のみを収録するものであって、自分が使用したい絵文字が収録されていないことがある。

これらの問題を解決するために、絵文字の標準化に適した絵文字の分類方法を提案し、絵文字を容易に選択できるチャットシステムを試作した。

2. 絵文字の分類方法の提案

Google と Apple 社の提案は、キャリアごとに異なった文字コードを一つの文字コードに統一する提案で、絵文字の意味の統一がされていないのが現状である。重視すべきところは文字コードではなく絵文字の意味である。

本来は意味を踏まえて絵文字を作成すべきであるのに、実際は元からある絵文字を適当な意味合いを付けて文字コードに収めようとしている。不秩序な標準化をすると、コミュニケーシ

ョンに支障が発生する。ここで、絵文字の意味を区別し分類することで、秩序あるものになると考えた。

分類方法として「国際十進分類法」^[3] を参考にし、絵文字をカテゴリごとに分類した。この分類方法の特質は、大から小への段階的に細分化するもので、分類の対象は普遍的であり、あらゆる知識を一元的に分類することができる。

絵文字を分類するにあたって、「意味」を「対象」と置き換えて分類を行う。まず、一般的な対象を選定し、それを種類に分割し細分化していく。例えば「動物」「鳥」「スズメ」のように細かく分けていく。そして、絵文字として

表 1 絵文字の分類表

対象	動物	鳥	スズメ
			カラス
			アヒル
			:
		馬	
		魚	
		虫	
		:	
	植物	花	
		木	
		キノコ	
		:	
	建物	家	
		マンション	
		ビル	
		施設	
		:	
	乗り物	自動車	
		電車	
		バイク	
	:		
食べ物	和食		
	洋食		
	デザート		
	野菜		
	:		
飲み物	ジュース		
	お酒		
	お茶		
	:		
衣服/ファッション	インナー		
	ジャケット		
	ズボン		
	スカート		
	:		
家具/インテリア	椅子		
	机		
	家電		
	:		

A chat system with easy emoji selection

[†]Yasutaka Toratani · Kanazawa Institute of Technology

[‡]Makoto J. Hirayama · Kanazawa Institute of Technology

活用できる範囲まで分割できた地点で細分化を終了とする。この方法で絵文字を分類し表にしたものが表 1 である。

対象を分類することにより、使用できる絵文字の範囲を広げることが可能となり普遍性が高まる。また、絵文字を区別して分類でき、同じ意味のものが重複することを防ぐことができる。収録した絵文字の有無が確認でき、使いたい絵文字がなかった場合に追加が容易にできる。

3. システム構成・試作品

分類表をもとにユーザが絵文字を選択しやすいようにチャットシステムを試作した。なお、試作に使用した絵文字は分類表に基づき、独自で作成したものである。また、絵文字のコードも独自で用意したものである。このチャットシステムは Ajax により非同期に、データの送受信が可能となっている。試作ソフトウェアのブロック図を図 1 に示す。

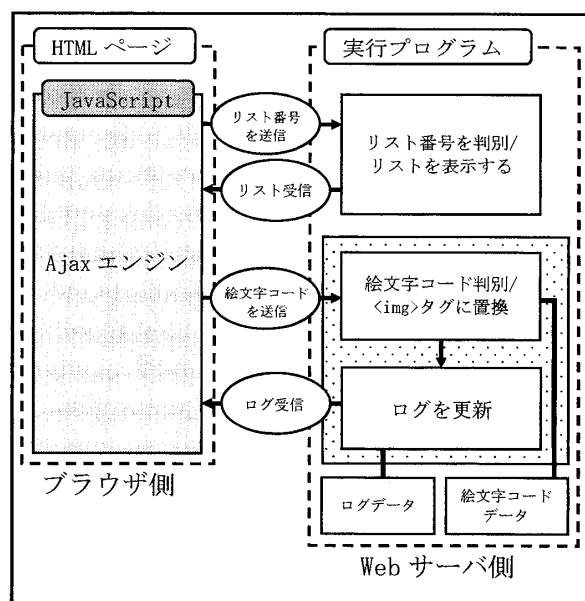


図 1 試作ソフトウェアのブロック図

ユーザが使用したい絵文字のカテゴリを選ぶと、サーバ側から要求された絵文字のリストが表示される。表示された絵文字リストから絵文字を選択しユーザが送信ボタンをクリックすることにより、サーバに入力データが送信され、絵文字コードを判別し、タグに置き換えられ画像が表示される。そして、ログデータに最新のコメントが追加され、ブラウザにログが表示される。このシステム構成を土台とし試作したチャットを図 2 示す。

右側の絵文字のカテゴリ画像をクリックする

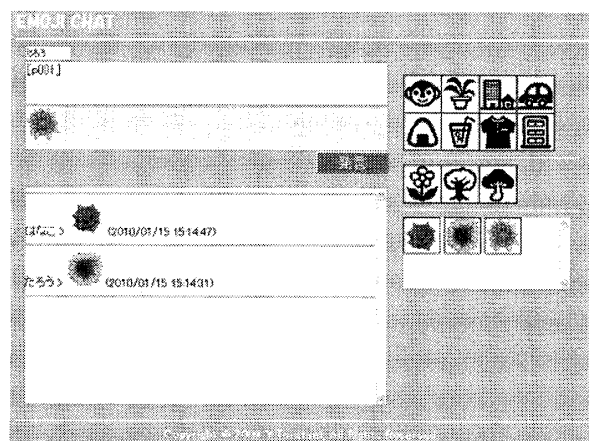


図 2 試作したチャットシステムの画面例

と、そのカテゴリの絵文字リストが表示される。表示された絵文字をクリックすることで、テキストエリアに絵文字コードが入力される。発言ボタンをクリックすると、絵文字コードが画像に置換されログの欄に表示される。

Ajax 仕様なためリストの表示やログの更新は自動的に行われる。そのため、次のページに移ること、ページの更新は必要としない。

4. おわりに

絵文字の分類方法を提案し、試作チャットを作成した。使用した結果、絵文字を選択するのに時間がかからずに選ぶことができた。また、使用したい絵文字の有無が確認できるので、意味の重複せずに絵文字が追加することが可能となった。

Google、Apple 社が提案する標準化を抜きにしても、聴覚障害者や外国人などのコミュニケーションの手段として絵文字を使用するために、絵文字の分類は必要である。今回の分類したものは一部であり、使用されると思われる絵文字の分類はまだ十分ではない。

今後は、絵文字の分類を十進分類ではない方法を含めて検討し、さらに改善し、標準化に適したものをまとめていく予定である。

参考文献

- [1] マイボイスコム, 携帯電話の絵文字に関するアンケート調査, <http://www.myvoice.co.jp/biz/surveys/10701/index.html>, 2007.
- [2] Google, Apple, Proposal for Encoding Emoji Symbols, <http://std.dkuug.dk/jtc1/sc2/wg2/docs/n3582.pdf>, 2009.
- [3] 日本ドクメンテーション協会, 国際十進分類法 簡略日本語版, 日本ドクメンテーション協会, 1967.